

關於日語順接條件句與 *-temo* 句的使用區別之考察 ——後件為同一動詞表現的情況——

陳昭心

慈濟大學東方語文學系助理教授

摘要

本論文將日語裡後件為同一動詞表現的順接條件句與 *-temo* 句視為對立表現，並考察其使用區別。從用例的分析歸納出三種類：

第一種對立裡，不論 *-temo* 句或順接條件句皆有「反預期」的含意；順接條件句表示包含「*kaette*（反而）」之意的「反效果的因果關係」，而 *-temo* 句表示「*muda*（對於預期的實現沒有幫助）」。

第二種對立裡，*-temo* 句有「反預期」的含意，但順接條件句沒有；順接條件句表示「當然的因果關係」或「契機」，而 *-temo* 句表示「*muda*（對於預期的實現沒有幫助）」。

第三種對立是，有些原本應該用 *-temo* 句來表現的地方，卻觀察到順接條件句的使用，那是因為將前件解釋為「（必然會發生的）確定條件」的緣故。此種對立的順接條件句表示「確定條件」，而 *-temo* 句表示「*muda*（對於預期的實現沒有幫助）」。

關鍵字：順接條件、「*-temo*」、反預期、反效果的因果關係、「*kaette*」、當然的因果關係、契機、確定條件、「*muda*」

順接条件文とテモ文の使い分けに関する一考察 —後件が同一動詞表現である場合—

陳昭心

慈済大学東方語文学系助理教授

要旨

本稿では、後件が同一動詞表現である順接条件文とテモ文を対立表現として取り扱い、その種類と使い分けを考察した。集めた用例を次のようにまとめた。(1) 両者ともに「予期に反する」という含みのある対立。この対立では、順接条件文が「かえって」というような意味を含んだ「逆効果の因果関係」を表し、テモ文が「無駄（予期の実現には効果がない）」を表す。(2) テモ文にだけ「予期に反する」という含みがあるが、順接条件文にはそれがない、という対立。この対立では、順接条件文が「当然の因果関係」を表したり、「きっかけ」を表したりして、テモ文が「無駄（予期の実現には効果がない）」を表す。また、(3) 論理上テモ文を使用すべき場合でも、その前件が「確定条件」と解釈できる場合は、順接条件文の使用が許容されることがある。この対立では、順接条件文が「確定条件」を表し、テモ文が「無駄（予期の実現には効果がない）」を表す。

キーワード：順接条件、テモ、予期に反する、逆効果の因果関係、
「かえって」、当然の因果関係、きっかけ、確定条件、
無駄

**A Study of the Usage of Conditionals and “-temo”
Sentences:
Cases of which Consequents are the Same Verb Expression**

CHEN, Jaushin

Assistant Professor, Department of Oriental Languages & Literature,
Tzu Chi University

Abstract

The aim of this paper is to discuss the usage of conditionals and “-temo” sentences in the cases of which consequents are the same verb expression. It can be divided into three types. (1) Both of conditionals and “-temo” sentences have the implication of “contrary to expectation.” In this type, conditionals mean “causal relationship of the opposite effect” (such as “*kaette*”), while “-temo” sentences mean “*muda* (futility).” (2) Only “-temo” sentences have the implication of “contrary to expectation.” In this type, conditionals mean “natural causal relationship” or “*kikkake*,” while “-temo” sentences mean “*muda* (futility).” (3) Some sentences in which “-temo” should be used are expressed by conditionals. In this type, conditionals mean “when something happens,” while “-temo” sentences mean “*muda* (futility).”

Keywords: conditionals, “-temo”, contrary to expectation, causal relationship of the opposite effect, “*kaette*”, natural causal relationship, “*kikkake*”, “*when something happens*”, “*muda*”

順接条件文とテモ文の使い分けに関する一考察 —後件が同一動詞表現である場合—

陳昭心

慈済大学東方語文学系助理教授

1. はじめに

日本語の条件表現を導入する際、学習者にいわゆる「順接」と「逆接」の概念を区別させるために、意味的に逆になっている例文を提出して説明することが一般的である。例えば、(1) と (2) のような例文は、後件が正反対になっており、意味が逆になっている。

(1) 雨が降ったら、出かけません。 〈『みんな』25 課文型〉

(2) 雨が降っても、出かけます。 〈『みんな』25 課文型〉

日本語記述文法研究会（2008）によると、「順接条件」とは（3）のような「ある事態が別の事態を引き起こすことを予測する表現（p. 96）」、「逆接条件」とは（4）のように「2つの事態の間にある予測された因果関係が実現しないことを表す（p. 146）」という。このような説明は、上記の（1）（2）に対しても説明できる。

(3) 薬を飲めば、熱が下がる。 〈日本語記述文法研究会 2008:96〉

(4) 薬を飲んでも、熱が下がらない。 〈同上 2008:146〉

ところが、広い意味での条件関係は必ずしも因果関係があるとは限らないし、また、順接条件文とテモ文が一見意味的に逆になっていると思われにくいこともある¹。例えば次の（5）～（10）は、前

¹ 本稿では、各順接表現の相違を考察の対象としないため、特に明示する必要がない場合は、「たら」「ば」「と」「なら」「ては」のような形式（あるいはその中のどれか）を「順接条件文」と呼ぶことにする。また、「ても」は「逆接」

田（1993）では「テモ文を用いても順接の条件文でも、かなり近い意味を表す場合がある（p. 151）」と説明されている²。

- (5) そんなこと言われても、困る。
- (6) そんなこと言われると、困る。 〈前田 1993〉
- (7) こんなところで彼女に出っくわしても、まずいことになるから…
- (8) こんなところで彼女に出っくわしたら、まずいことになるから… 〈沼田 1986〉
- (9) 田中さんに会っても、このことは秘密にしておいて下さい。
- (10) 田中さんに会ったら、このことは秘密にしておいて下さい。 〈Yamaguchi 1989〉

確かに、(1) (2) や (3) (4) のような後件が正反対になっているものに対して、(5) ～ (10) のような後件が同じである用例は意味的には区別しにくいものである。しかし、これらのような形式的に異なる表現は、やはり何らかの使い分けがあるはずである。ところが、先行研究では、主に順接条件文「ば・と・たら・なら」の使い分けか、あるいはテモ文の原理か、そのどちらかに集中し検討したものであり、両者の比較についてはあまり検討されていないようである。そこで、本稿では、特に、後件が同じである順接条件文とテモ文に関する使い分けを検討することにする。本研究を従来の順接条件表現研究とテモ表現研究の架け橋と位置づけたい。

ただ、(7) (8) のような後件が前件に対する評価を表す用例は、

を表すのか「順接」を表すのかを判断しがたいことがあるため、「ても」を含んだ表現は「逆接表現」と言わず、「テモ文」と呼ぶことにする。

² 前田（1993）は、(5) (6) を挙げているほかに、沼田（1986）や Yamaguchi（1989）の例文を引用している。ただ、(7) (8) は沼田（1986）の例文ではあるが、(9) (10) の中で Yamaguchi（1989）が挙げたのは (9) のみであって、(10) はおそらく前田（1993）が「近い意味」の例文として挙げて対照させたものであろう。

その使い分けが「たらいい」や「てもいい」のような慣用表現に繋がり、それとまとめて検討する必要があるため、それに関する考察は別稿に譲りたい。本稿では、後件が同一動詞表現である順接条件文とテモ文の使い分けを考察することにする。

2. 先行研究の検討

同じ後件である順接条件文とテモ文の用例を挙げた先行研究は、例えば、沼田（1986）、Yamaguchi（1989）、前田（1993）、藤井（2002）、有田（2011）がある。藤井（2002）はYamaguchi（1989）で考察された内容を踏まえてのものであるため、両者は一括して検討されても良いと考えられる。以下、沼田（1986）、Yamaguchi（1989）および藤井（2002）、有田（2011）、前田（1993）という順に先行研究を検討していく³。

2.1 沼田（1986）の説明

沼田（1986）は、「も」を単純他者肯定の「も 1」、意外の「も 2」、柔らげの「も 3」に分け、それぞれの「も」が仮定条件の形式副詞句をとりたてる場合を考察している。その中で意外の「も 2」について、次の例文を挙げ、(12)の「も」は意外の「も 2」であり文の逆接的な関係を表すと考えている⁴。

(11) 太郎はほめられると怒る。

(12) (ほめられると怒る人はないはずだが) 太郎はほめられても怒

³ なお、言語学研究会（1986）は「しても」を中心として考察しているが、「すれば」「すると」「したら」「するとき」に置き換えても意味に変化は起こらないとされている「しても」の用例を幾つか挙げている。ただ、本稿の判断では、挙げられているテモ文の用例は順接条件文に置き換えるのが適切ではないものであったり、文学の特例であったりするため、あえて検討に入れないことにする。

⁴ なお、沼田（1986）では、柔らげの「も 3」についての用例として、後件が前件に対する評価である順接条件文とテモ文の用例を挙げているが、これらを別稿で検討することにする。

る。

〈沼田 1986:27〉

しかし、(12) で示された「ほめられると怒る人はないはずだ」という前提を持っていても、「ほめられたら（かえって）怒る」という表現も可能なのではないだろうか。そうすると、いわゆる順接条件文でも「逆接」な意味を表すことがあることになるのだと考えられる。

2.2 Yamaguchi (1989) および藤井 (2002) の説明

上記の疑問に関わって、Yamaguchi (1989) および藤井 (2002) における用例の説明が示唆に富んでいる。藤井 (2002) では、次の2例を挙げ、(13) は「話者の意図は、徹夜して勉強したら翌日疲れて眠くて試験がうまくできないだろうから徹夜などしないで早く寝てしっかり睡眠をとる方がよいと提案することである (p. 264)」と説明されており、それに対して、(14) は「徹夜をしてもしなくてもどちらにしても合格しないよ (p. 264)」と説明されている。

(13) 徹夜で勉強したら、試験に合格しないよ。

(14) 徹夜で勉強しても、試験に合格しないよ。

〈藤井 2002:264-265〉

この2例がなぜ示唆に富んでいるかと言うと、順接条件文の(13)でもテモ文の(14)でも、裏には「予期に反する」という前提があるからだと考えられるためである。すなわち、テモ文の(14)に「徹夜で勉強すれば試験に合格する」という予期があるほかに、順接条件文の(13)にも「徹夜で勉強すれば試験に合格する」という予期を抱いているのである。したがって、(13) (14) とともに「予期に反する」という含みがあり、この2例は両者ともに「予期に反する」という含みのある対立であると考えられる。

2.3 有田（2011）の説明

一方、有田（2011）は、(5)「そんなこと言われても困る」と(6)「そんなこと言われると困る」に対して「非常に近い意味」という前田（1993）の捉え方に疑問を提出し、次のように説明している。

（・・・前略）「ても」でつなぐとき、話し手は、「そんなことを言う」が成立した場合に当然期待されることができないために「困る」と述べているのであり、一方、「と」を用いるのは、そんなことを言われれば困るのは当然だと考えているからである。（後略・・・）
〈有田 2011 : 135〉

有田（2011）の説明は、筆者の理解では、(5)「そんなこと言われても困る」は(6)「そんなこと言われると困る」よりも「予期（予想/期待）に反する」という含みがあると言える。すなわち、この2例は「予期に反する」という含みの有無によっての対立なのである。このような対立は、2.2における(13)(14)のような両者ともに「予期に反する」という含みのある対立とは違う、ということが注意されたい。

2.4 前田（1993）の用例

前田（1993）は順接条件文とテモ文の使い分けを考察することを目的としないため、前述の(5)～(10)を挙げ「かなり近い意味を表す場合がある（p. 151）」と述べるにとどまっている。しかしながら、Yamaguchi（1989）の(9)「田中さんに会っても、このことは秘密にしておいて下さい」に合わせて順接条件文(10)「田中さんに会ったら、このことは秘密にしておいて下さい」を挙げたということが興味深い。一般的には、「田中さんに会ったら、このことを秘密にする」というような予期ではなく、「田中さんに会ったら、このことを言ってしまう」という予期があるはずである。その予期に反してテモ文の(9)「田中さんに会っても、このことは秘密にしておいて

下さい(=このことは言わないでください)」を使用すべきであるが、なぜ順接条件文の(10)も成り立つ文として挙げられているのであろうか。前田(1993)には(10)に関する具体的な文脈がないため、このような例文の使用文脈をより深く考察する必要があると考えられる。

2.5 先行研究から残された課題

ここまで見てきたように、同じ後件を持つ順接条件文とテモ文の使い分けについて、先行研究では、一種類の1組の用例のみ言及するか、用例を説明せずに挙げるかなどの提示で、全体的にまとまった整理と分析が見られない。また、先行研究での用例はかなり示唆に富んでいるが、文脈の不足や数の少なさから特殊な用例ではないかと思われる恐れもある。そこで、本稿では、後件が同じ動詞表現である順接条件文とテモ文を対立表現として取り扱い、その対立の種類を整理し、順接条件文とテモ文の使い分けを分析することにする。

では、筆者の集めた用例を分析した結果を示す前に、ここでもう一度本稿の捉え方で前述の先行研究の用例を整理しておこう。

対立①：両者ともに「予期に反する」という含みがある

(13) 徹夜で勉強したら、試験に合格しないよ。

(14) 徹夜で勉強しても、試験に合格しないよ。

対立②：テモ文には「予期に反する」という含みがあるが、順接条件文にはそれがない

(5) そんなこと言われても困る。

(6) そんなこと言われると困る。

対立③：テモ文を使用すべき文脈における順接条件文の使用

(9) 田中さんに会っても、このことは秘密にしておいて下さい。

(10) 田中さんに会ったら、このことは秘密にしておいて下さい。

次節では、筆者の集めた用例を分析した結果を示し、各種類の対立における順接条件文とテモ文の使い分けを考察する。

3. 後件が同一動詞表現である順接条件文とテモ文の使い分け

3.1 対立①：両者ともに「予期に反する」という含みがある

上記の藤井（2002）で挙げた（13）（14）はともに「予期に反する」という含みのある対立だと考えられる。この2例についての説明をさらに掘り下げることにする。

一般的に言えば、「徹夜で勉強する」ほど頑張ることが「試験に合格する」ことを達成させるはずである。ところが、聞き手が「徹夜で勉強すれば合格する」という予期を持っているのに、話し手が「予期に反する展開（逆効果）をもたらす恐れ/裏目に出る恐れ」を警告しようとするのなら、（13）のような「徹夜で勉強したら（かえって）試験に合格しない」というような順接条件文を使用すべきである。本稿ではこのような「かえって」を含む因果関係を「逆効果の因果関係」と呼ぶことにする。一方、聞き手が「徹夜で勉強すれば合格する」という予期を持っているのに、話し手が「予期の実現には効果がない（無駄）」を強調しようとするのなら、（14）のような「徹夜で勉強しても試験に合格しないよ」というテモ文を使用すべきである。つまり、順接条件文は「かえって」を含む「逆効果の因果関係」を表すのに対して、テモ文は「無駄（予期の実現には効果がない）」という意味を伝える、という使い分けになると言える⁵。

⁵ 陳（2013）では、藤井（2002）の2例（＝（13）（14））に対する説明についてもそれぞれ「徹夜で勉強することがかえって合格しない結果をもたらすという意味（p. 244）」「どうしても合格できないという意味（p. 244）」を表すと解釈しており、すなわち、順接条件文の（13）は「かえって」の意味があると意識している。ところが、陳（2013）では順接条件文の内容に「かえって」という含意の有無を問わず、ただ「順接表現を使用する場合は、前件が積極的に後件をもたらすことを表す（p. 244）」と説明している。本稿では、順接条件文の内容に「かえって」という含意の有無に着目し、「かえって」という含意のあるものを「逆効果の因果関係」として区別しておきたい。これは後ほどの3.2や3.3における用例の説明に関わる。なお、注9も参照されたい。

この使い分けで次の (15) (16) も説明できる。

(15) (ネット小説)

そんなダミアノはホテルの部屋で会うや、俺の服装を見て笑った。「おやおやすっかりお子様だな、ディモンド。スーツはどうしたんだ？」

……返事を避ける。異世界で巨大ゴキブリと戦ったなんて説明したら、混乱するだけだ。代りに鋭い目で一瞥する。

〈<http://ameblo.jp/spring-0204/entry-11566650993.html>〉

(16) (「製品、よくあるご質問」での回答)

4本の中に2本以上の大天使のボトルを選んだ場合、クイントエッセンスのように、優先順位があるかという、それほど明確に決まっているわけではないようです。

そうした場合にマイクは数秘を駆使して選んでいましたけれども、ややこしいので、一般の方にはここで説明しても混乱するだけでしょう。

となると、原則に立ち返り、大いなるガイドはあなたの内側にありますということで対応しても良さそうに思われます。

〈http://aura-soma.jp/faq/dtl_35.html〉

(15) の順接条件文は「説明することがかえって混乱することを引き起こす」という「逆効果の因果関係」を表している。それに対して、(16) は「説明することは理解するには役に立たず、無駄である」という意味を伝えている。

さらに、(17) (18) も参照されたい。(17) が「羊を数えたらかえって眠れないかも」という「逆効果の因果関係」を伝えているのに対して、(18) は「羊を数えることは無駄である」という意味を伝えている。

(17) (「眠れぬ夜は羊を数えますか!？」というネット記事へのコメ

ント)

羊を数えたら眠れないかも (文字絵略)

(コメントへの返答)

むしろ!? 逆に!? そういう感じ!!??

〈<http://minkara.carview.co.jp/userid/194569/blog/15755411/>〉

(18) (ネットの HP における内容)

羊を数えても眠れない……明日早いのにどうしよう……

なんだか身体が重くてなかなか起きれない……

起きて鏡を見たら、えっ? なんでこんなにむくんでるの?

病院に行くほどでもないし、薬を飲むほどでもないし……でも、調子悪くて… 〈<http://www.atelierantibes.jp/>〉

このように、順接条件文でもテモ文でも「予期に反する」という含みがある対立は、順接条件文が「かえって」というような「逆効果の因果関係」を表すのに対し、テモ文が「無駄 (予期の実現には効果がない)」を表すのである。

3.2 対立②: テモ文には「予期に反する」という含みがあるが、 順接条件文にはそれがない

一方、次の用例では、テモ文 (20) にだけ「予期に反する」という含みがあり、順接条件文 (19) にはその含みがない。

(19) (ブログ記事)

ハリファックスでビールといえば

これ、Alexander Keith's !!!!

(中略)

日本に帰ったら飲めないので、こっちにいる間は飲みます、キース!

〈<http://ameblo.jp/r29hknya/entry-11523712026.html>〉

(20) (ツアーのガイドが客にオーストラリア特産のシャンペンを薦めている。日本国内ではオーストラリアの物産のほとんどが手に入れるが、このシャンペンはオーストラリアでしか飲めない。是非滞在中に試してほしいという話で……)

ガイド「日本に帰っても飲めないので」 〈実例〉

(19) の順接条件文は「ハリファックスのビールは日本に帰ったら飲めない」ということを言っており、本稿では「当然の因果関係」と呼ぶことにする。それに対して、(20) では「日本国内ではオーストラリアの物産のほとんどが手に入る」という前提のもとに「このシャンペンは日本に帰っても飲める」という聞き手（客）の予期が生起しやすい。その予期に反してテモ文が使用されていると考えられる。

次に、(21) (22) を見てもらいたい。テモ文 (22) にだけ「予期に反する」という含みがあり、順接条件文 (21) にはその含みが無い。

(21) (元夫とのやりとりについてのブログ記事)

そして・・・【扁桃腺の手術】について

『この先も心配だから扁桃腺の手術をしようと思います』

あ～そう・・・って感じです

で・・・【引っ越し】について

『来月には引っ越しをします』

引っ越したら連絡してください

それにしても、敷金・礼金・撤去のお金たまったんだあ～～

〈<http://ameblo.jp/takunoumix0410/theme2-10012047654>.

html〉

(22) (ブログ記事)

風太くんは、ブロックとかパーツがあれば組み合わせたり構築する力はすごく高いんですが、真っ白なところから作り

出す、というのが苦手なのかもですね。イメージして白紙から始めるからこの手の子は苦手な子が多いですけどね。

----------* という会話をしてきました。
引っ越しても連絡してね(´艸`)ってメアド交換しました。

ガチでしますとも！

グチグチメールします！ と伝えました。

〈<http://ameblo.jp/musa-hosi/entry-11586947843.html>〉

順接条件文の(21)は前件が後件の「きっかけ」となる表現である。話し手が元夫に「来月には引っ越しをします」と言ったら、元夫が冷たく返事をした場面であり、特に「引っ越したら連絡がなくなりそう」という予期はない。それに対して、テモ文の(22)は話し手が相手と積極的に仲良くしようとしているため、「引っ越したら連絡がなくなりそう」という予期に反して「引っ越しても連絡を断ち切らないように」ということを言っている⁶。

このように、テモ文には「予期に反する」という含みがあるが、順接条件文にはそれがない、という対立において、順接条件文は「当然の因果関係」を表したり、前件が後件の「きっかけ」を表したりする。一方、テモ文は「無駄(予期の実現には効果がない)」を表す。

なお、前にも述べたように、(5)「そんなこと言われても困る」と(6)「そんなこと言われると困る」のような対立もこの種類に入るが、慣用表現にもなるため、3.3で改めて考察することにする。

3.3 「そんなこと言われると／ても困る」の使い分け

ここでは、先行研究でも言及した「そんなこと言われると困る」

⁶ このような発話意図は、次の(a)に近いと言えよう。

(a) 木村：ミラーさんが東京へ行ったら、寂しくなりますね。東京へ行っても、大阪のことを忘れないでくださいね。『みんな』25課会話)

ただ、(21)(22)の後件は字面的に同じく「連絡する」になっているが、本当はそれぞれ「一回性の知らせ」と「多回性の連絡」の違いがあることに注意しなければならない。

と「そんなこと言われても困る」の使い分けについて見直してみる。両者の区別については、有田（2011）では「「ても」でつなぐとき、話し手は、「そんなことを言う」が成立した場合に当然期待されることができないために「困る」と述べているのであり、一方、「と」を用いるのは、そんなことを言われれば困るのは当然だと考えている」（p. 135）と説明しており、どちらかと言うといわゆる意外の「も 2」に近い。それに対して、蓮沼（2013）では「「テモ」はこれ以外の条件があることを暗示し、「タラ」よりも柔らかいニュアンスをもつ（やわらげの「も」）」（p. 37）と説明しており、いわゆる柔らげの「も 3」と考えられている⁷。本稿では、「意外のも 2」と「柔らげのも 3」に何らかの繋がりがあるように考えるため、以下、「と」と「たら」の違いは考慮せず、その繋がりを探ってみる。

有田（2011）で「「と」を用いるのは、そんなことを言われれば困るのは当然だ（p. 135）」と説明されているように、次の（23）のような順接条件文は、「当然の因果関係」を表すことから、「そんなこと言ったら相手を困らせるのだから、そんなこと言ってはいけない」という不許可や非難の意味を伝えている。それに対して、（24）のようなテモ文の場合は、「予想に反する」という含みがあり、「あなたは私がそんなこと言われたら何か対応するだろうと思っているが、そうではない。そんなこと言われても対応できないから困る」という内実があるため、結局「そんなこと言われても対応できない」ということを伝えているのではないかと考えられる⁸。

⁷ 蓮沼（2013）が挙げた例は次のようなアンケートの選択肢問題である。

（b）甲：明日、ゼミの発表、私の番なんだけど、ちょっと急用ができちゃって…代わりに発表してもらっていい？

乙：えっ、そんなこと急に_____困るんだけど…

A. 言われたら B. 言われても C. 言われれば

〈蓮沼 2013:34〉

⁸ ちなみに、「ても」を考察した田中（1988）では、次の2例を挙げ、「返答に窮するような場合にも＜と言っても＞が反唱的に現れる（p. 155）」と説明している。

（c）「今回の演技の中でどこがよくて、どこが悪かったと思いますか」

(23) (ブログ記事)

今日の夜「掛け持ちのバイトにもこっちのバイトにも迷惑かけられないので今日辞めます」と社長らしき偉い人に相談したら「急にそんなこと言われたら困る。GW控えてるのに身勝手だ。向こうのバイトを辞めてこっちに来てよ。とりあえず明日は来てもらおう」などと必死に引きとめられ言いくるめられ辞めようにも辞められない状態になりました。

ちなみにおととい辺り辞めた人の理由は就職が決まったかららしいです（本当かどうかは分かりませんが）

〈<http://oshiete1.nifty.com/qa5858358.html>〉

(24) (ネットの Q&A)

「『うちじゃこんな美味しいごはん出ないでしょ?』とか、いちいち聞く意味がわかんない」(30代女性)というように、孫の気を引きたいあまり、アピールがすぎる姑も警戒されているようです。その場では「そんなこと言われても困るよなあ」とお茶を濁し、妻には「ごめんな」と目配せしておくといいでしょう。

〈<http://www.sugoren.com/report/1363142490505/>〉

また、テモ文が順接条件文より柔らげのニュアンスがあるということの理由については、本稿では、蓮沼（2013）が述べたテモ文に

「どこがと言われても困りますが、全体的に悪かったです」

(1987.8.22 体操の NHK 杯インタビューから)

(d) 「電話は?…」

「電話が来たことはありました」

「それ見ろ、どんな人だった」

「どんな人って言っても、顔を見ないんですから、わかりませんよ」

(石川達三『頭の中の歪み』)

〈田中 1988:155〉

確かに「返答に窮する」という説明がわかりやすい。しかし、なぜ「ても」はこういう効果が出るのかは説明されていない。また、順接条件文についても言及していない。本稿の説明を通して「返答に窮する」という効果になる内実がわかると考えられる。

含まれた「これ以外の条件」が何なのかということを理解できないため、あえて次のように解釈することにする。すなわち、「当然の因果関係」を表す順接条件文は、「当たり前の理屈」を意味するため、聞き手に「そんなこと言ったら相手を困らせるというのは当然（常識）だろう」というようなニュアンスを含んでいる。そのため、「そんなこと言われても対応できない」というようなテモ文よりも厳しく聞こえると考えられる⁹。

3.4 テモ文を使用すべき文脈における順接条件文の使用

本節では、(9)「田中さんに会っても、このことは秘密にしておいて下さい」と(10)「田中さんに会ったら、このことは秘密にしておいて下さい」のような対立を考える。前にも述べたように、一般的には、この文を使用する際に「田中さんに会ったら、このことを言ってしまう」という予期があり、その予期に反してテモ文の(9)「田中さんに会っても、このことは秘密にしておいて下さい（＝このことは言わないでください）」を使用すべきである。はたしてこの例では、順接条件文も使用されているのであろうか。

実際、上記のような「予期に反する」という含みがあってテモ文を使用すべき文脈であっても、順接条件文を使用した用例が観察される。例えば、次の(25)(26)を比較してみよう。

(25) (ブログの記事)

顧問の先生怖すぎ！！ ありえねー！ ってゆーか、見た目
優しそうなのに、内面めっちゃ怖い！
今日なんか、10回は怒ったぞっ！ メガネかけてる・・・
メガネ取るとめっちゃブサイク！！

⁹ 陳(2013)は、有田(2011)の(5)(6)に対する説明と、藤井(2002)の(13)(14)に対する説明を言及したが、両者の対立の違いを区別していない。しかし、本稿では、(5)(6)の対立と(13)(14)の対立を別々に考える必要があると考えられる。

皆にだけ特別に教えてあげる！ メガネ取るとキモイ・・・！
らしき先生に会ったら秘密にしてな！

〈<http://blog.hangame.co.jp/V765364652/article/36166479/>〉

(26) 〈ネット小説〉

『本当は招待状出すまで秘密って決めてたんだけど酔ってたみたいでつい。でも早くお知らせしたかったのは本当だよ！テツ君にも直接会えたら言うつもりだったんだけど中々会えなくて……もし今吉さんに会ってもこのことは秘密にしてくれる？』

「大丈夫です。言いませんから。会わないと思いますし」

〈<http://www.pixiv.net/novel/show.php?id=1791280>〉

これらの場面では、「～に会ったら言うてしまう」という予期があるため、(26)のようにテモ文を使用すべきであるが、(25)のような順接条件文も使用されている。

一方、次の2組の用例も「テモ文を使用すべき」文脈にあると考えられるが、テモ文だけでなく順接条件文の使用も観察される。まず、(27) (28) を見てみよう。

(27) (ブログ記事)

おねしょをしてしまった恥ずかしさより
どうして小六にもなって、
今までしたこともなかった
おねしょをするようになってしまったのかを、
とても悩んでいたのです。
私はカウンセラー仲間にこっそりとこのことを
相談しました。
でも返って来た答えは、
「放っておいたら、自然に治るよ。」
ということでした。

〈<http://haruko1.hatenablog.com/entry/2014/08/06/104735>〉

(28) (ネットの脚本)

「その時、独房の中で首を吊って意識を失った。その後遺症があるんだ」

高、どんな後遺症だと聞く

「頚動脈を圧迫したために、脳の基底かくに障害が残った。バレエのような激しい運動をしたりすると、手足が痺れたり、震えたりするんだ。今日レッスン中に捻挫したのもそのせいだよ」

高、その傷害は治るのかと尋ねる

「ほっといても自然に治るが、2、3ヶ月かかるだろう」

「バレエ公演の舞台に立って無事踊りぬけるかどうか」

高、どうして隠してたのかとさくらを叱る

「澄夫のためだよ。澄夫が知ったら自分をかばって自首したせいだと思うだろう。あいつは苦しむよ。だからさくらはオレに口止めをしたんだ」

さくら、お母さんのためにバレエ公演を成功させたい、失敗したら申し訳ないと泣き出す

〈<http://kamosinobu.seesaa.net/article/391920593.html>〉

(27) (28) では、「治療を受けたら治る。放っておいたら治らない」という予期があるため、その予期に反してテモ文を使用すべきである。しかし、ちょうど「放っておく」ことが「時間が経つ」ことにもなることから、「放っておく」は確定条件として解釈されることができる¹⁰。つまり、「放っておいたら (=時間が経ったら) 自然

¹⁰ 庵 (2001) は「前件が真になることがわかっている条件を確定条件と言います (p. 212)」と述べている。つまり、前件が起こることは必然である。次の例文が挙げられている。

(e) (*もし) 明日に {なれば/なったら} 雨も止むでしょう。

(f) (*もし) 10 時に {*なれば/なったら} 出発しましょう。〈庵 2001:212〉

に治る」ということにもなるのである。

もう 1 組の用例 (29) (30) を比較してみよう。

(29) (ネットでの投稿記事)

私は 6 年前に母を亡くしました。あまり仲のよい母娘でないとずっと思っていたましたが、かけがえのない大切な人だということを余命半年と宣告されて初めて気がつきました。

告知はしなかったけれど最後に「最初からみんなわかっていたよ。もう十分頑張ったから早く逝きたい。」って私にだけ話してくれました。

私の口からは「人間はいつかみんな死ぬのだから…生まれ変わったらまた親子になろう」という言葉が出ました。母は「いい言葉だな～」と感激してくれたようでした。

人は死ぬときは先に旅立った大切な皆さんが迎えに来てくださるようです。

母は「だから全然怖くないし、お前やみんなが死ぬときも迎えにきてやるぞ」って。。。

まだまだ先になりそうだから頑張らなくちゃ。

絶対原本も読みたい作品です。

〈<http://afi.nifty.com/afilog/2009/02/post-bcf7.html>〉

(30) (ブログ記事)

昨晚、塾へ通う息子たちを迎えに行った車内で、小 3 の兄が唐突にこんな質問をしてきました。

「ママ、僕がもし死んだらどうなるの？」

…は？

また難しいことを聞いてくるなあ。

「ん～…。いったんお空に昇って、また赤ちゃんになって別のパパとママのところに生まれるんだよ」

「ふ～ん。」

…しばし沈黙。

そんなやり取りをしている間に、家のガレージへ到着。
車を降りる際に黙っていたシュンが一言…
「また次もママから生まれたいよ」
ホロリ…(ノ_・。)
こんなダメダメ母なのに。
シュン、コウ。
生まれ変わっても、また親子になろうね。
あなたたちは絶対にママよりも長生きして、ママがママとしてまた生まれ変わるまで待っててよ…
〈<http://blogs.yahoo.co.jp/dxwrq943/archive/2010/6/1>〉

理屈としては「生まれ変わった後は、赤の他人だ」という予期があることから、(30) のようなテモ文を使用すべきである。しかし、「生まれ変わることができる、しかも、必然的である」という考えを持っている人にとっては、「生まれ変わる」ことを確定条件として見ているため、(29) のような順接条件文も使用可能であると考えられる。

では、前に挙げた (25) の文脈をもう一度見てみよう。(25) は、同じ学校の人に話題の先生のことを予告してあげる、という場面である。これは同じ学校にいたので「いつか必ずその先生に会える」という状況設定になりやすいと言える。つまり、「～に会う」ことを確定条件として見る場合は、順接条件文の容認度が高くなるのではないかと考えられる。

ここまで見てきたように、理論上はテモ文を使用すべき文脈であっても、前件が「確定条件」として解釈できる場合は、順接条件文の容認度が高くなることがあると言える¹¹。このような対立では、

¹¹ なお、この種類の対立は、順接条件文でもその使用環境には「予期に反する」という含みがあることと解釈できる一方、確定条件として解釈することもでき、その確定条件が「きっかけ」と見られることがあるため、何らかの意味で 3.1 と 3.2 の両者を繋げるように思われる。

順接条件文が「確定条件」を表し、テモ文が「無駄（予期の実現には効果がない）」を表す。

4. おわりに

本稿では、後件が同一動詞表現である順接条件文とテモ文を対立表現として取り扱い、その種類と使い分けを考察した。集めた用例を次のようにまとめた。(1) 両者ともに「予期に反する」という含みのある対立。この対立では、順接条件文が「かえって」というような意味を含んだ「逆効果の因果関係」を表し、テモ文が「無駄（予期の実現には効果がない）」を表す。(2) テモ文にだけ「予期に反する」という含みがあるが、順接条件文にはそれがない、という対立。この対立では、順接条件文が「当然の因果関係」を表したり、「きっかけ」を表したりして、テモ文が「無駄（予期の実現には効果がない）」を表す。また、(3) 論理上テモ文を使用すべき場合でも、その前件が「確定条件」と解釈できる場合は、順接条件文の使用が許容されることがある。この対立では、順接条件文が「確定条件」を表し、テモ文が「無駄（予期の実現には効果がない）」を表す。

本稿は後件が同一動詞表現である用例を検討したが、後件が前件に対する評価である用例の対立に関しては考察していないため、今後の課題としたい。

付記：本論は、2014年シドニー日本語教育国際研究大会で口頭発表した内容の前半部を大幅に修正・改稿したものである。

【参考文献】

Yamaguchi, Seiko Fujii. 'Concessive Conditionals in Japanese: A Pragmatic Analysis of the S1-TEM0 S2 Construction' *BLS* 15, 1989 : 291-302

- 有田節子「前田直子著『日本語の複文—条件文と原因・理由文の記述的研究—』『日本語文法』11 巻 2 号、東京：くろしお出版、2011、128-136 頁
- 庵 功雄『新しい日本語学入門』、東京：スリーエーネットワーク、2001
- 言語学研究会構文論グループ「条件づけを表現するつきそい・あわせ文—その 4—」『教育国語』84、東京：むぎ書房、1986、49-68 頁
- 田中 寛「逆接の条件文〈ても〉をめぐって」『日本語教育』67、東京：日本語教育学会、1988、139-158 頁
- 陳 昭心「テモの不使用についての一考察—中国語の母語干渉の観点から」『日本語/日本語教育研究』4、東京：ココ出版、2013、231-248 頁
- 日本語記述文法研究会『現代日本語文法 6 複文』、東京：くろしお出版、2008
- 沼田善子「副詞句のとりたて—「と」「ば」「たら」「なら」と「も」—」『都大論究』23 号、東京：東京都立大学、1986、19-32 頁
- 蓮沼昭子「順接と逆接の境界—テモ構文に外国語の順接表現が使用される場合を例に—」『日本語教育連絡会議論文集』25、日本語教育連絡会議、2013、29-43 頁
- 藤井聖子「所謂「逆条件」のカテゴリー化をめぐって—日本語と英語の分析から—」生越直樹（編）『シリーズ言語科学 4 対照言語学』、東京：東京大学出版社、2002、249-280 頁
- 前田直子「逆接条件文「～テモ」をめぐって」益岡隆志（編）『日本語の条件表現』、東京：くろしお出版、1993、149-167 頁

【用例出典】

『みんなの日本語 初級 I 本冊』スリーエーネットワーク
<http://afi.nifty.com/afilog/2009/02/post-bcf7.html>
 (2014/10/13 参照)

<http://ameblo.jp/musa-hosi/entry-11586947843.html>
(2014/11/19 参照)

<http://ameblo.jp/r29hknya/entry-11523712026.html>
(2015/01/16 参照)

<http://ameblo.jp/spring-0204/entry-11566650993.html>
(2014/09/20 参照)

<http://ameblo.jp/takunoumix0410/theme2-10012047654.html>
(2014/11/19 参照)

http://aura-soma.jp/faq/dtl_35.html (2014/09/20 参照)

<http://blog.hangame.co.jp/V765364652/article/36166479/>
(2014/06/06 参照)

<http://blogs.yahoo.co.jp/dxwrq943/archive/2010/6/1>
(2014/10/13 参照)

<http://haruko1.hatenablog.com/entry/2014/08/06/104735>
(2014/10/12 参照)

<http://kamosinobu.seesaa.net/article/391920593.html>
(2014/10/12 参照)

<http://minkara.carview.co.jp/userid/194569/blog/15755411/>
(2014/11/02 参照)

<http://oshietel.nifty.com/qa5858358.html> (2014/11/19 参照)

<http://www.atelierantibes.jp/> (2014/11/02 参照)

<http://www.pixiv.net/novel/show.php?id=1791280>
(2014/06/17 参照)

<http://www.sugoren.com/report/1363142490505/>
(2014/11/19 参照)